
羽曳野市
介護保険サービス提供事業者に関するアンケート調査
報告書

令和3年3月

目次

1.	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査の実施について	1
(3)	調査票の回収状況	1
(4)	留意点	1
3.	事業の状況について	2
4.	人材について	3
5.	運営状況について	12
6.	提供しているサービス、今後の提供意向について	15
7.	サービス、社会資源について	21
8.	認知症、医療・介護連携について	29

1. 調査概要

(1) 調査目的

(2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

調査種類	介護保険サービス提供事業者に関するアンケート調査
対象者	羽曳野市内のサービス提供事業者
実施期間	令和2年10月29日～令和2年11月11日
実施方法	郵送配付、郵送回収

(3) 調査票の回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回答率
全体	84件	51件	60.7%	50件	59.5%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数をさします。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA、LAと記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

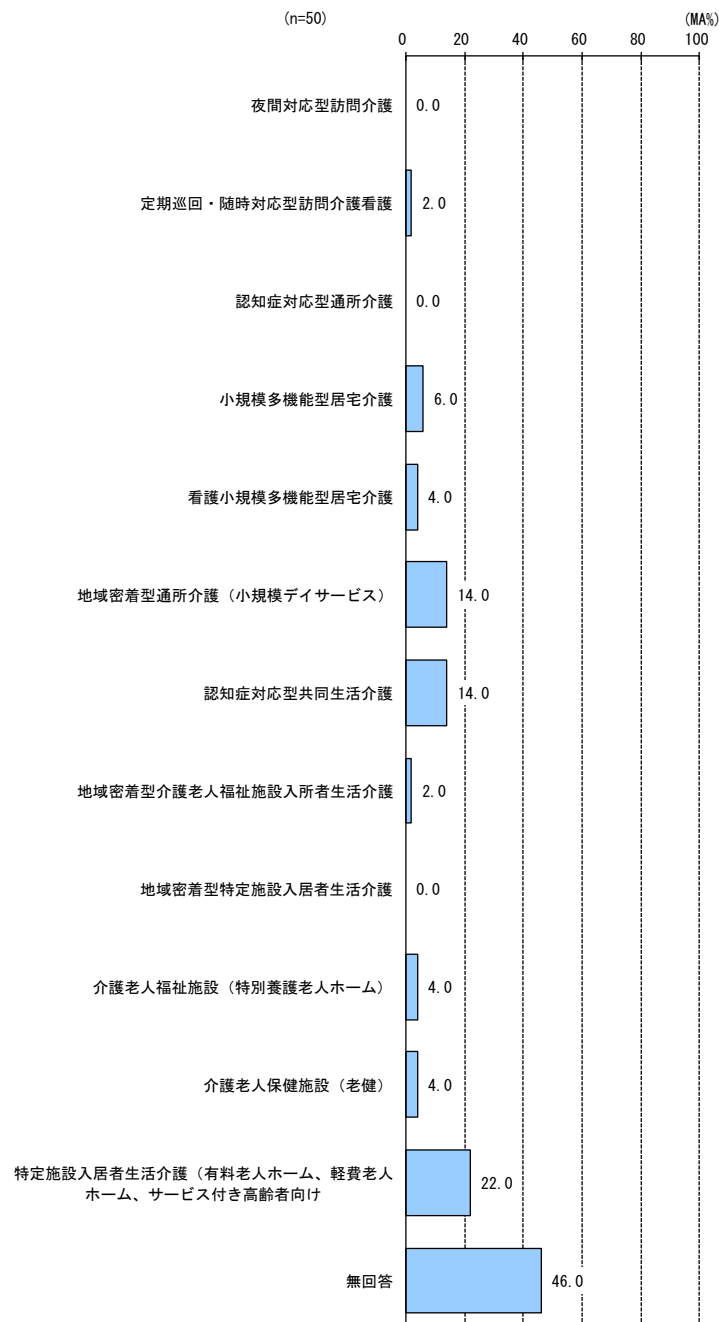
3. 事業の状況について

- 問1 現在、貴事業者で指定を受けているサービスについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 指定を受けているサービスについて、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け）」が22.0%で最も多く、次いで「地域密着型通所介護（小規模デイサービス）」「認知症対応型共同生活介護」が14.0%、「小規模多機能型居宅介護」が6.0%となっています。

【指定を受けているサービス (MA)】



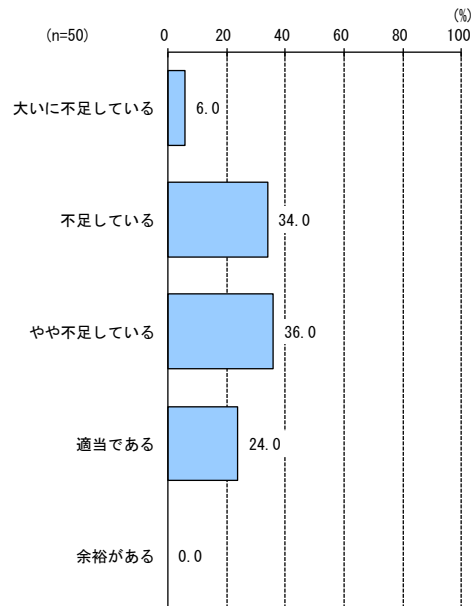
4. 人材について

●問5 従業員の過不足状況はいかがですか。(○は1つ)

【全体】

○ 従業員の過不足状況について、「やや不足している」が36.0%で最も多く、次いで「不足している」が34.0%、「適当である」が24.0%となっています。

【従業員の過不足状況】

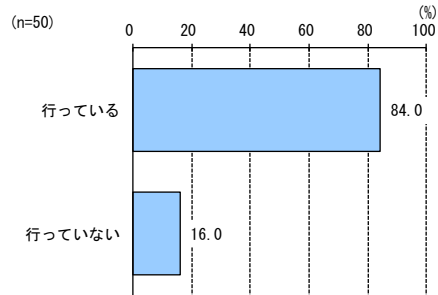


●問6 人材を確保するための取り組みを行っていますか。(○は1つ)

【全体】

○ 人材を確保するための取り組みについて、「行っている」が84.0%、「行っていない」が16.0%となっています。

【人材を確保するための取り組み】

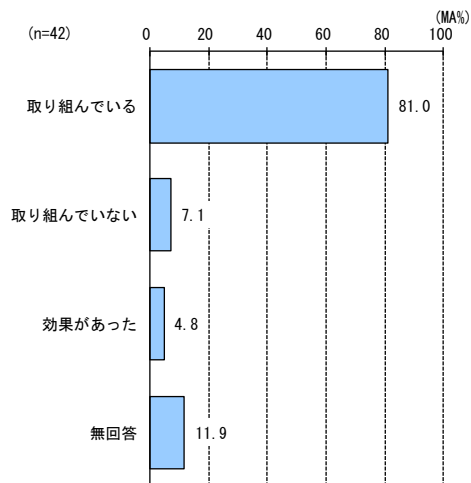


●問6-1 問6で「1. 行っている」を選んだ方にお伺いします。どのような取り組みを行っていますか。また、効果があったと思う取り組みは何ですか。(○はいくつでも)

【全体】

○ ハローワークとの連携を図っているについて、「取り組んでいる」が81.0%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が7.1%、「効果があった」が4.8%となっています。

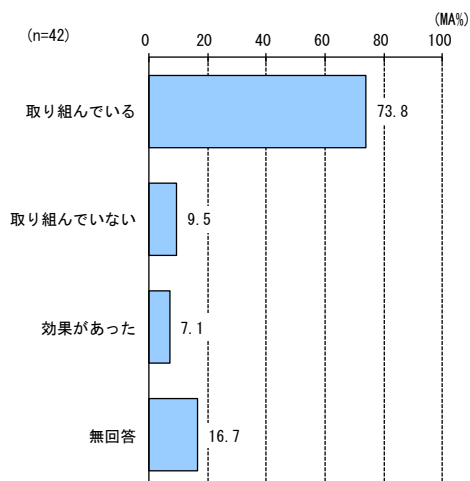
【ハローワークとの連携を図っている(MA)】



【全体】

- 定期的に求人誌への掲載などを行っているについて、「取り組んでいる」が73.8%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が9.5%、「効果があった」が7.1%となっています。

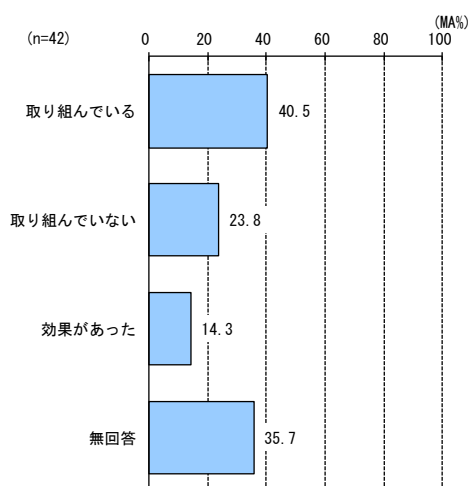
【定期的に求人誌への掲載などを行っている (MA)】



【全体】

- 人材派遣会社との連携を図っているについて、「取り組んでいる」が40.5%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が23.8%、「効果があった」が14.3%となっています。

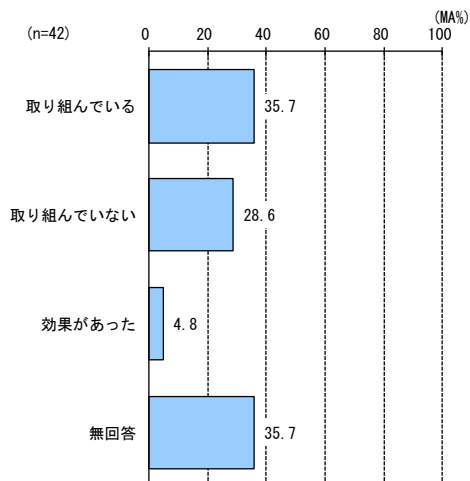
【人材派遣会社との連携を図っている (MA)】



【全体】

- 就職説明会への参加を行っているについて、「取り組んでいる」が35.7%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が28.6%、「効果があった」が4.8%となっています。

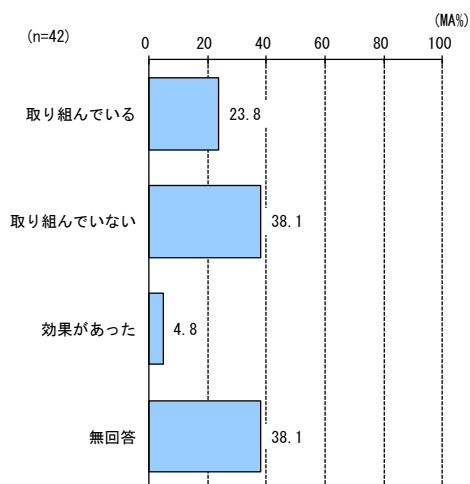
【就職説明会への参加を行っている (MA)】



【全体】

- 福祉専門学校等教育機関との連携を図っているについて、「取り組んでいない」が38.1%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が23.8%、「効果があった」が4.8%となっています。

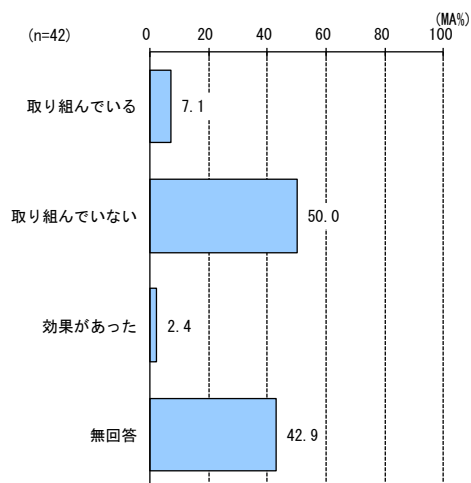
【福祉専門学校等教育機関との連携を図っている (MA)】



【全体】

- インターンシップ制度を導入しているについて、「取り組んでいない」が50.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が7.1%、「効果があった」が2.4%となっています。

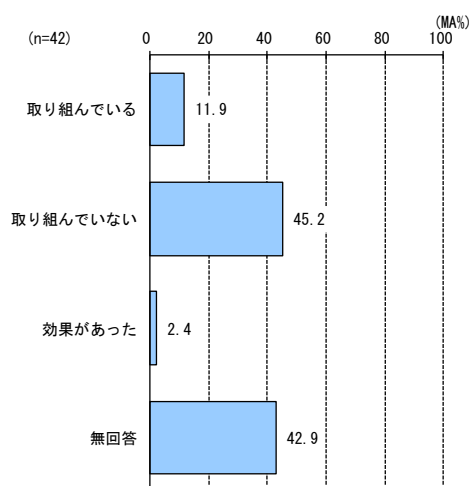
【インターンシップ制度を導入している(MA)】



【全体】

- 外国人人材を活用しているについて、「取り組んでいない」が45.2%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が11.9%、「効果があった」が2.4%となっています。

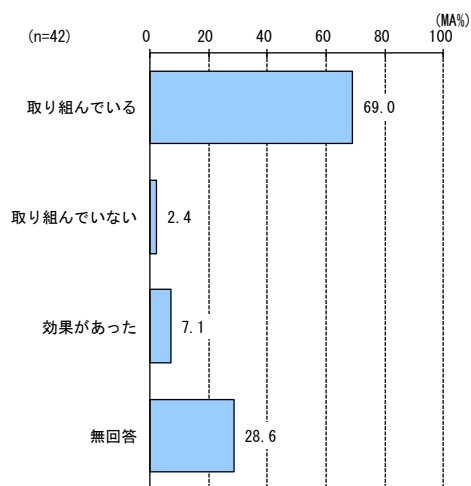
【外国人人材を活用している(MA)】



【全体】

- 採用時に仕事のやりがいや、社会的意識を伝えているについて、「取り組んでいる」が69.0%で最も多く、次いで「効果があった」が7.1%、「取り組んでいない」が2.4%となっています。

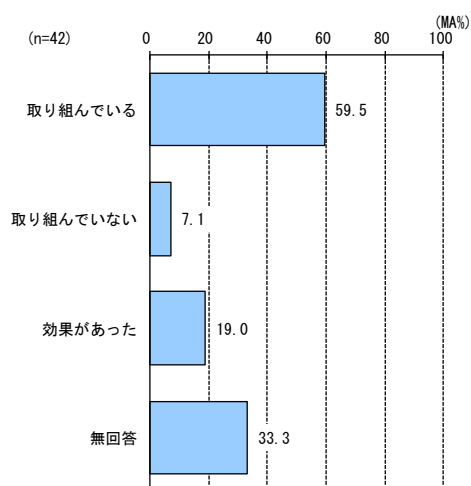
【採用時に仕事のやりがいや、社会的意識を伝えている (MA)】



【全体】

- 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっているについて、「取り組んでいる」が59.5%で最も多く、次いで「効果があった」が19.0%、「取り組んでいない」が7.1%となっています。

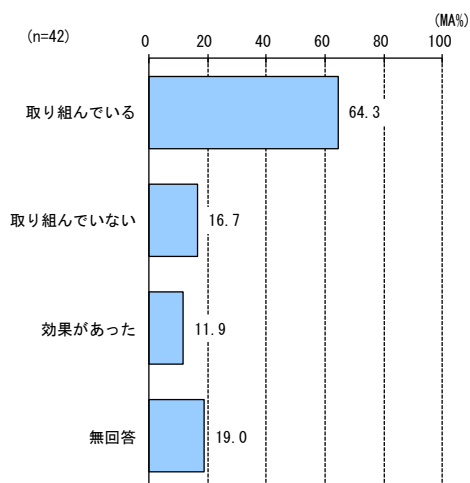
【育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている (MA)】



【全体】

- 無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させているについて、「取り組んでいる」が 64.3%で最も多く、次いで「取り組んでいない」が 16.7%、「効果があった」が 11.9%となっています。

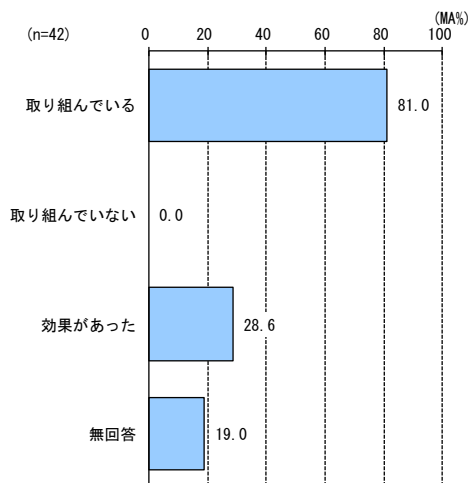
【無資格者でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている (MA)】



【全体】

- 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れているについて、「取り組んでいる」が 81.0%で最も多く、次いで「効果があった」が 28.6%となっています。

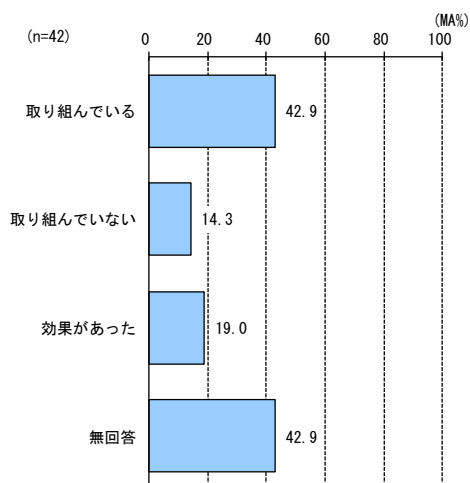
【採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている (MA)】



【全体】

- 採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定しているについて、「取り組んでいる」が 42.9%で最も多く、次いで「効果があった」が 19.0%、「取り組んでいない」が 14.3%となっています。

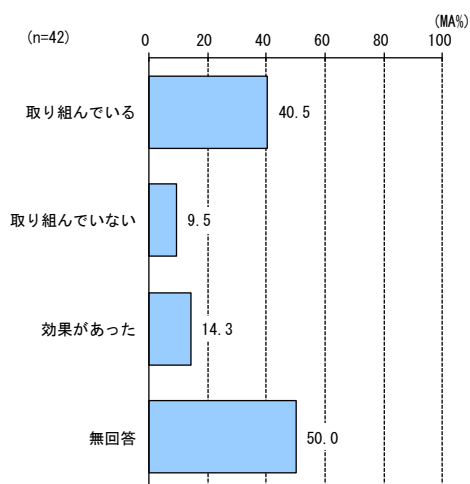
【採用時に給与（賞与・手当含む）を他社より好条件に設定している (MA)】



【全体】

- その他について、「取り組んでいる」が 40.5%で最も多く、次いで「効果があった」が 14.3%、「取り組んでいない」が 9.5%となっています。

【その他 (MA)】



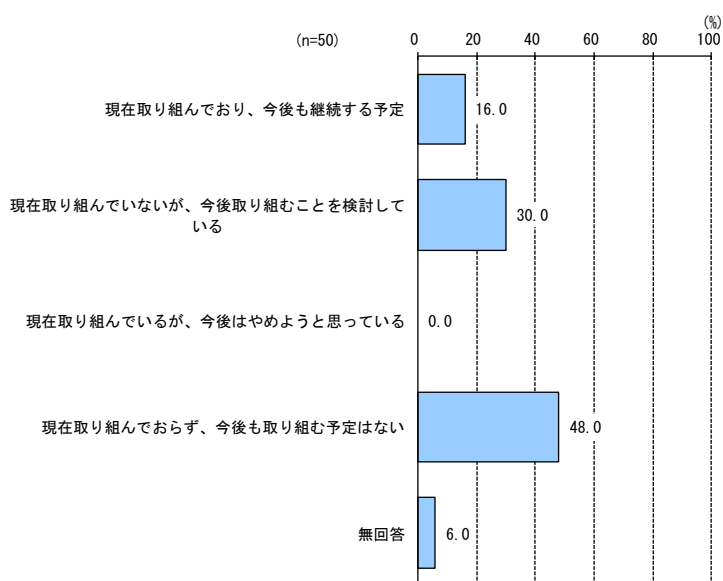
- 問7 人材確保、事務負担軽減のために介護ロボットの導入やICTの活用について、取り組みや検討を行っていますか。(○は1つ)

【全体】

- 人材確保、事務負担軽減のために介護ロボットの導入やICTの活用について行っている取り組みや検討について、「現在取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」が48.0%で最も多く、次いで「現在取り組んでいないが、今後取り組むことを検討している」が30.0%、「現在取り組んでおり、今後も継続する予定」が16.0%となっています。

【人材確保、事務負担軽減のために介護ロボットの導入やICTの活用について行っている取り組みや検

討】



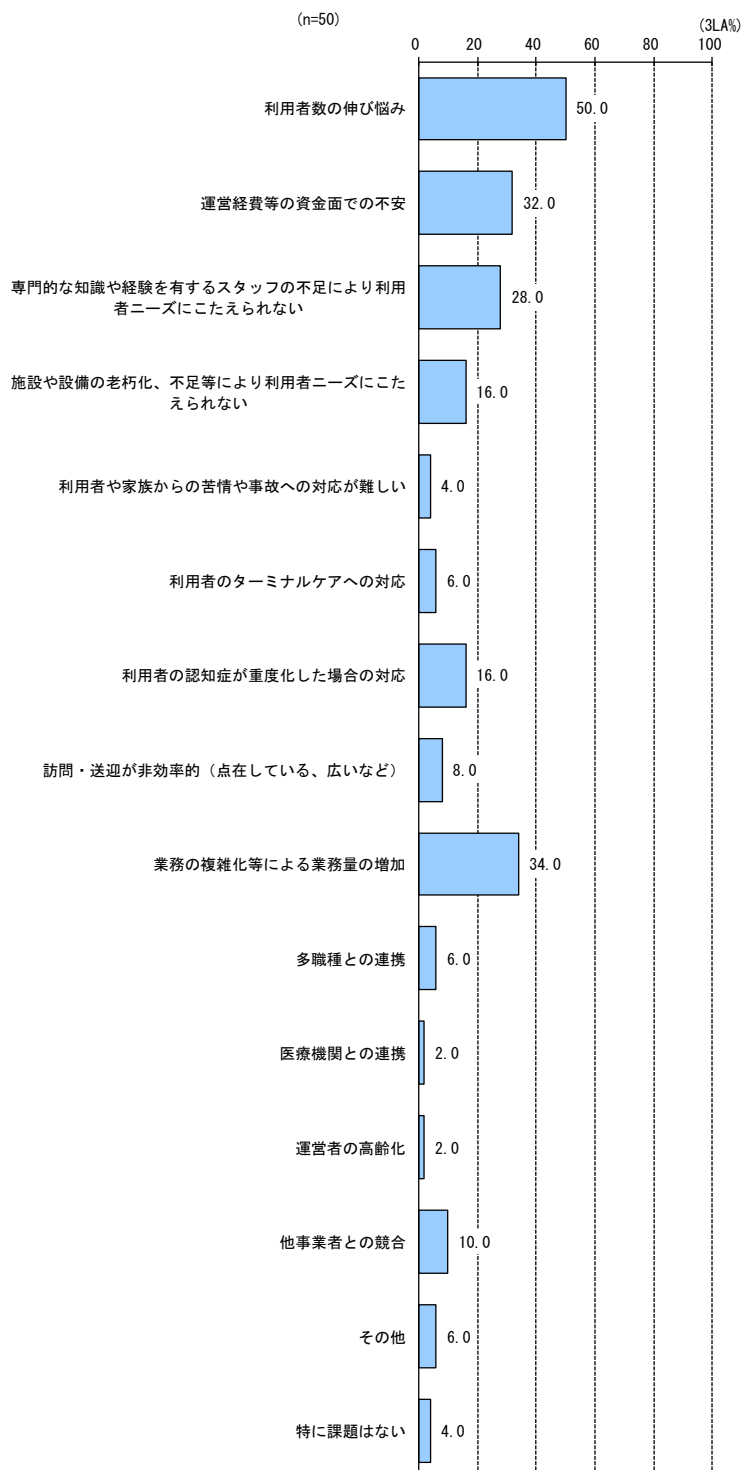
5. 運営状況について

●問9 事業を運営する上での課題は何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

- 事業を運営する上での課題について、「利用者数の伸び悩み」が50.0%で最も多く、次いで「業務の複雑化等による業務量の増加」が34.0%、「運営経費等の資金面での不安」が32.0%となっています。

【事業を運営する上での課題(3LA)】

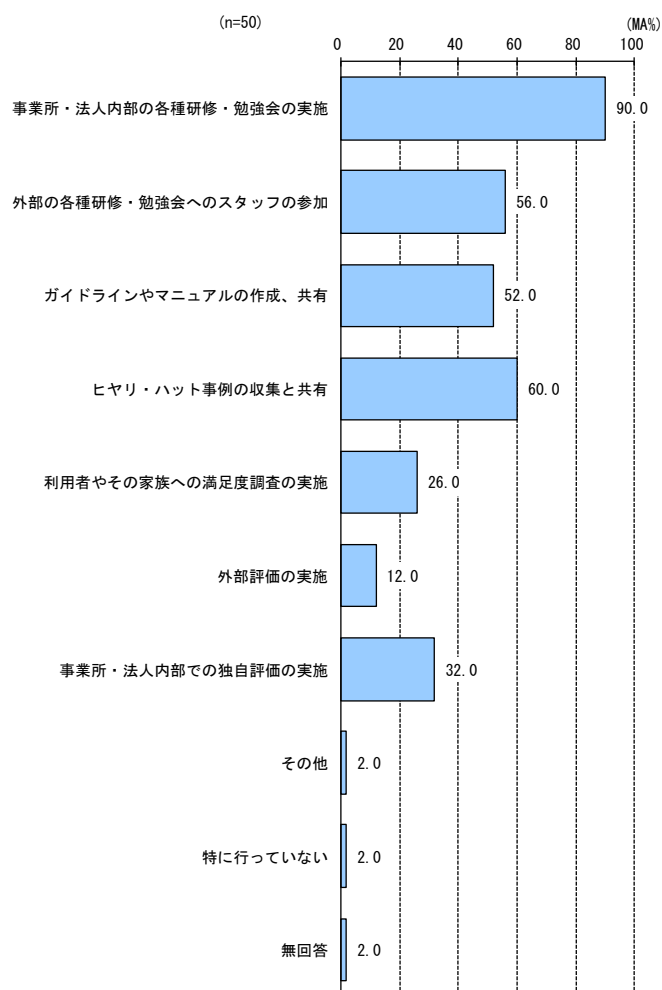


- 問 10 サービスの質を向上させるために、どのような取り組みをされていますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- サービスの質を向上させるための取り組みについて、「事業所・法人内部の各種研修・勉強会の実施」が90.0%で最も多く、次いで「ヒヤリ・ハット事例の収集と共有」が60.0%、「外部の各種研修・勉強会へのスタッフの参加」が56.0%となっています。

【サービスの質を向上させるための取り組み(MA)】

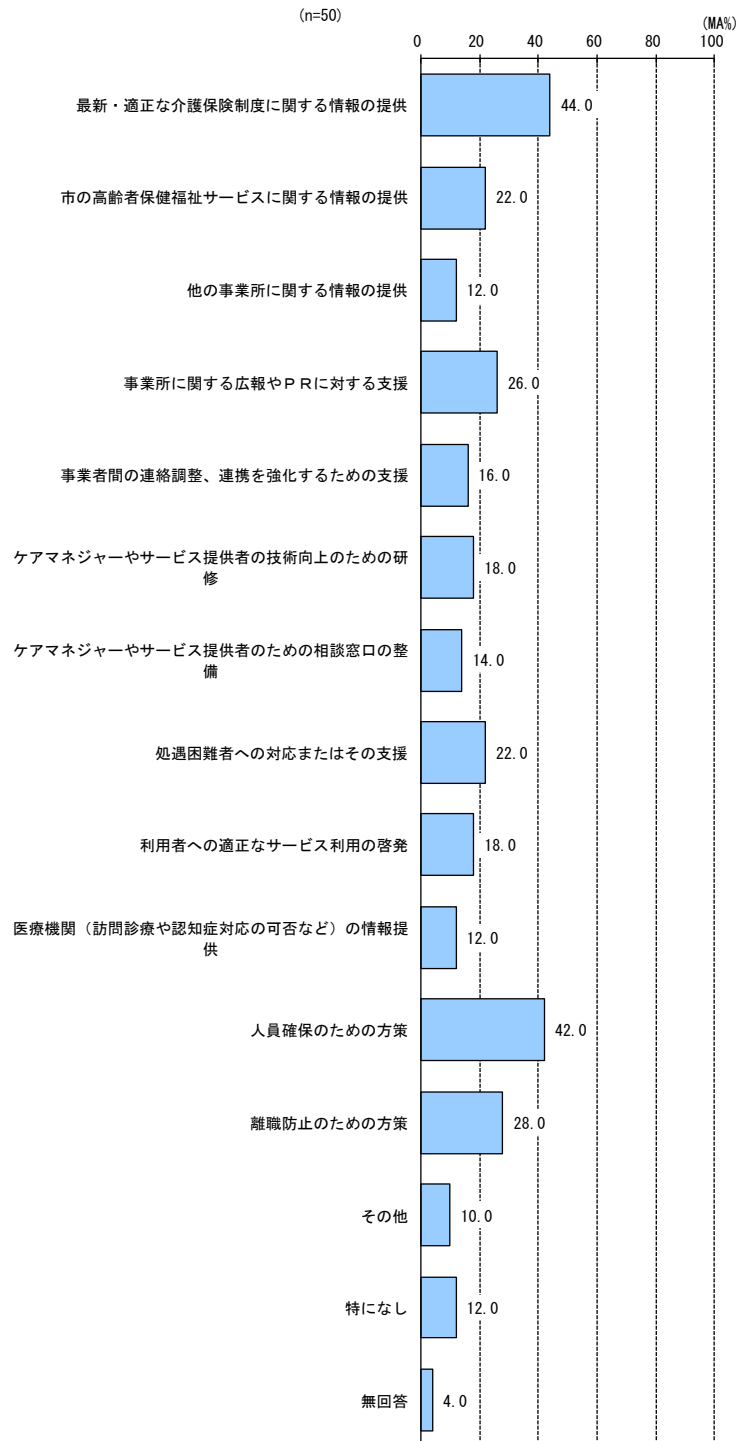


●問 11 事業を行う上で、羽曳野市に対する要望はありますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 事業を行う上で羽曳野市に対する要望について、「最新・適正な介護保険制度に関する情報の提供」が44.0%で最も多く、次いで「人員確保のための方策」が42.0%、「離職防止のための方策」が28.0%となっています。

【事業を行う上で羽曳野市に対する要望(MA)】



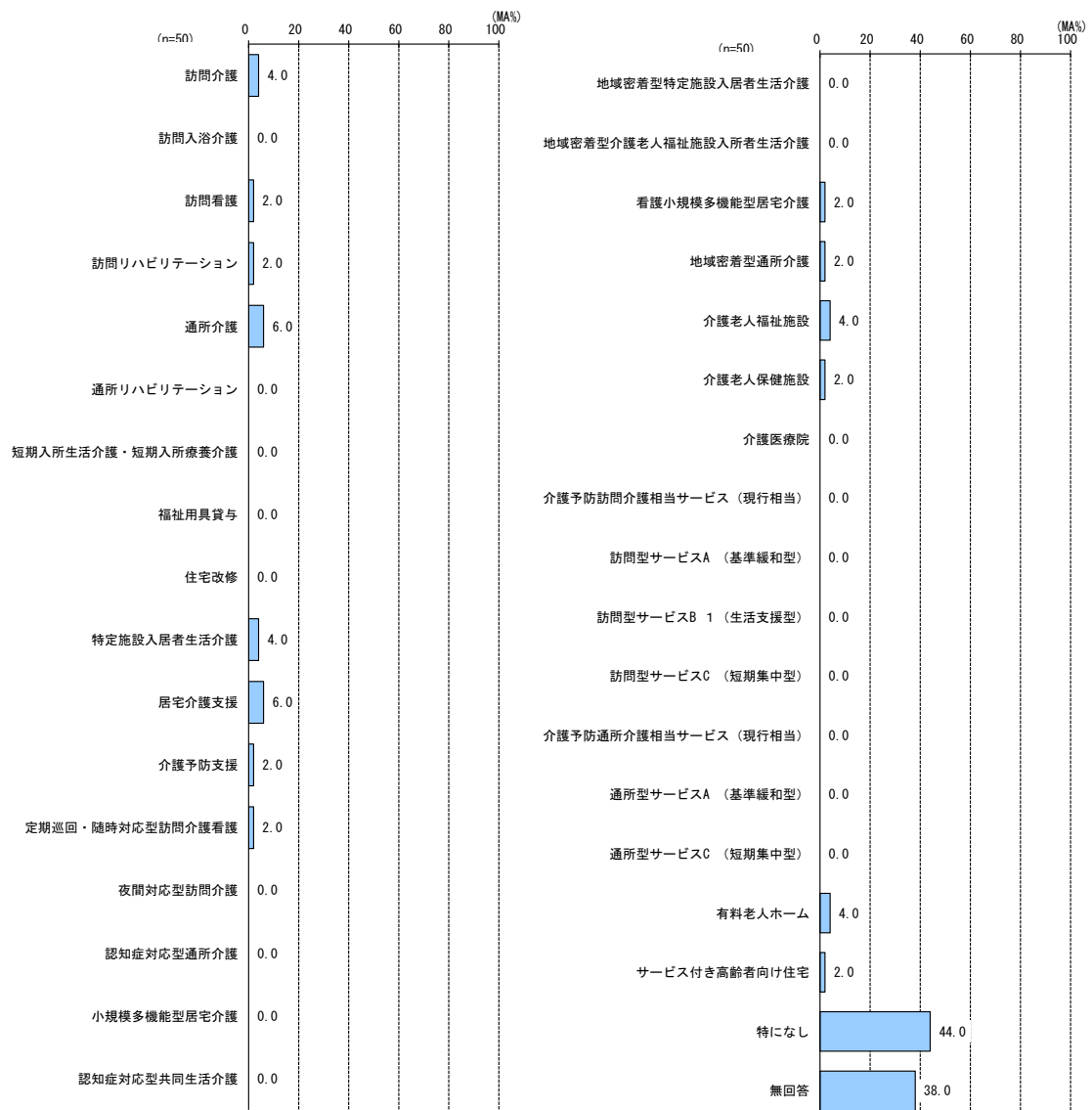
6. 提供しているサービス、今後の提供意向について

- 問 12 今後、羽曳野市において、新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えている介護サービスはありますか。（○はいくつでも）

【全体】

○ 今後、羽曳野市において、新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えている介護サービスについて、「特になし」が44.0%で最も多く、次いで「通所介護」「居宅介護支援」が6.0%、「訪問介護」「特定施設入居者生活介護」「介護老人福祉施設」「有料老人ホーム」が4.0%となっています。

【今後、羽曳野市において、新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えている介護サービス (MA)】

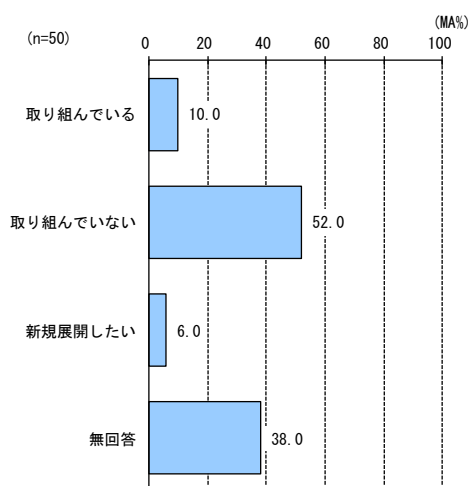


- 問 13 介護保険外のサービスで現在取り組んでいるサービスはありますか。また、今後新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えているサービスはありますか。（〇はいくつでも）

【全体】

- 配食について、「取り組んでいない」が 52.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が 10.0%、「新規展開したい」が 6.0%となっています。

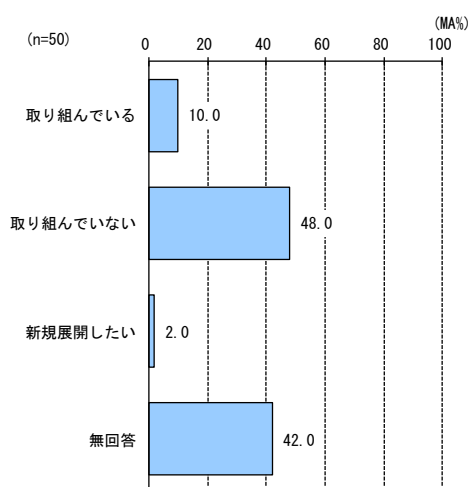
【配食(MA)】



【全体】

- 調理について、「取り組んでいない」が 48.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が 10.0%、「新規展開したい」が 2.0%となっています。

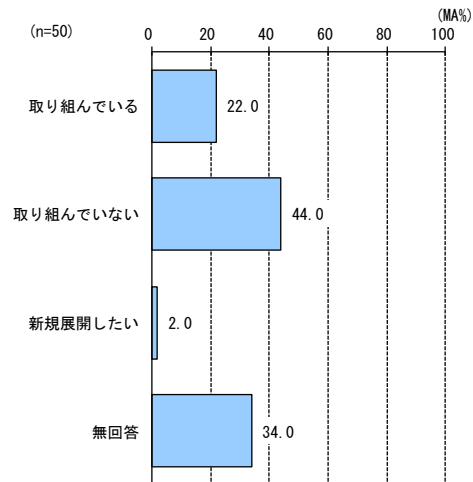
【調理(MA)】



【全体】

- 掃除・洗濯について、「取り組んでいない」が44.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が22.0%、「新規展開したい」が2.0%となっています。

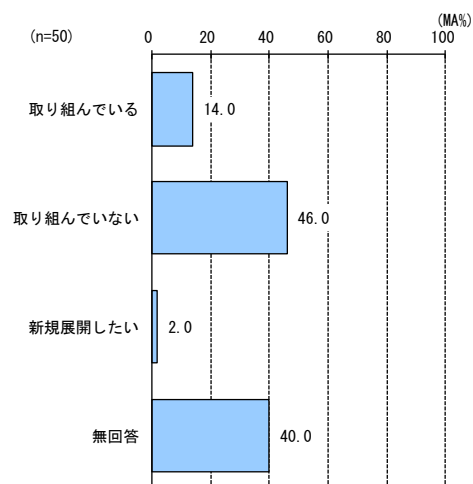
【掃除・洗濯(MA)】



【全体】

- 買い物代行（宅配は含まない）について、「取り組んでいない」が46.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が14.0%、「新規展開したい」が2.0%となっています。

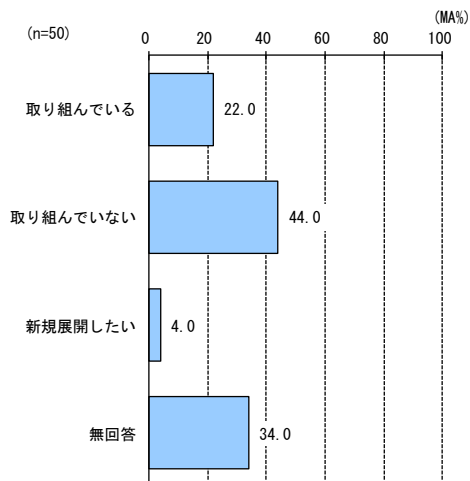
【買い物代行（宅配は含まない）(MA)】



【全体】

- 外出同行（通院、買い物など）について、「取り組んでいない」が44.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が22.0%、「新規展開したい」が4.0%となっています。

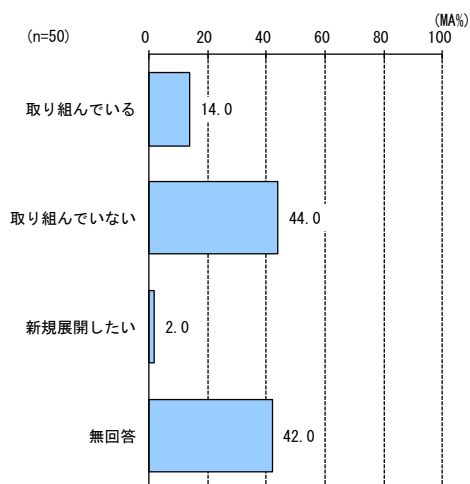
【外出同行（通院、買い物など）(MA)】



【全体】

- ゴミ出しについて、「取り組んでいない」が44.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が14.0%、「新規展開したい」が2.0%となっています。

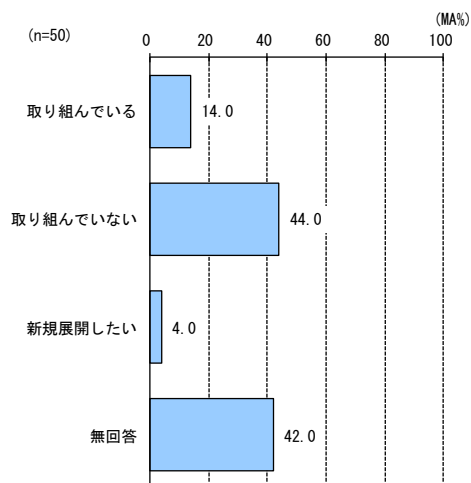
【ゴミ出し(MA)】



【全体】

- 見守り、声かけについて、「取り組んでいない」が44.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が14.0%、「新規展開したい」が4.0%となっています。

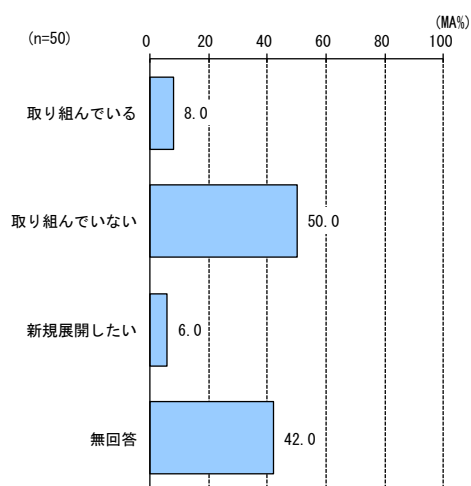
【見守り、声かけ(MA)】



【全体】

- サロンなどの定期的な通いの場について、「取り組んでいない」が50.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が8.0%、「新規展開したい」が6.0%となっています。

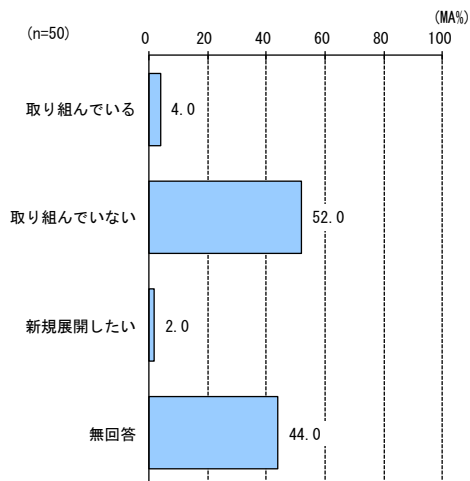
【サロンなどの定期的な通いの場(MA)】



【全体】

- 移送サービス（介護・福祉タクシー）について、「取り組んでいない」が52.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が4.0%、「新規展開したい」が2.0%となっています。

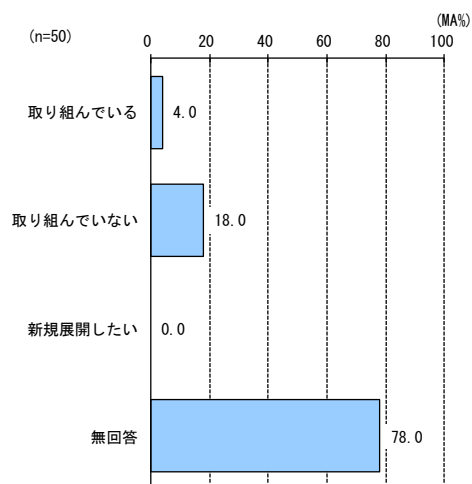
【移送サービス（介護・福祉タクシー）（MA）】



【全体】

- その他について、「取り組んでいない」が18.0%で最も多く、次いで「取り組んでいる」が4.0%となっています。

【その他（MA）】



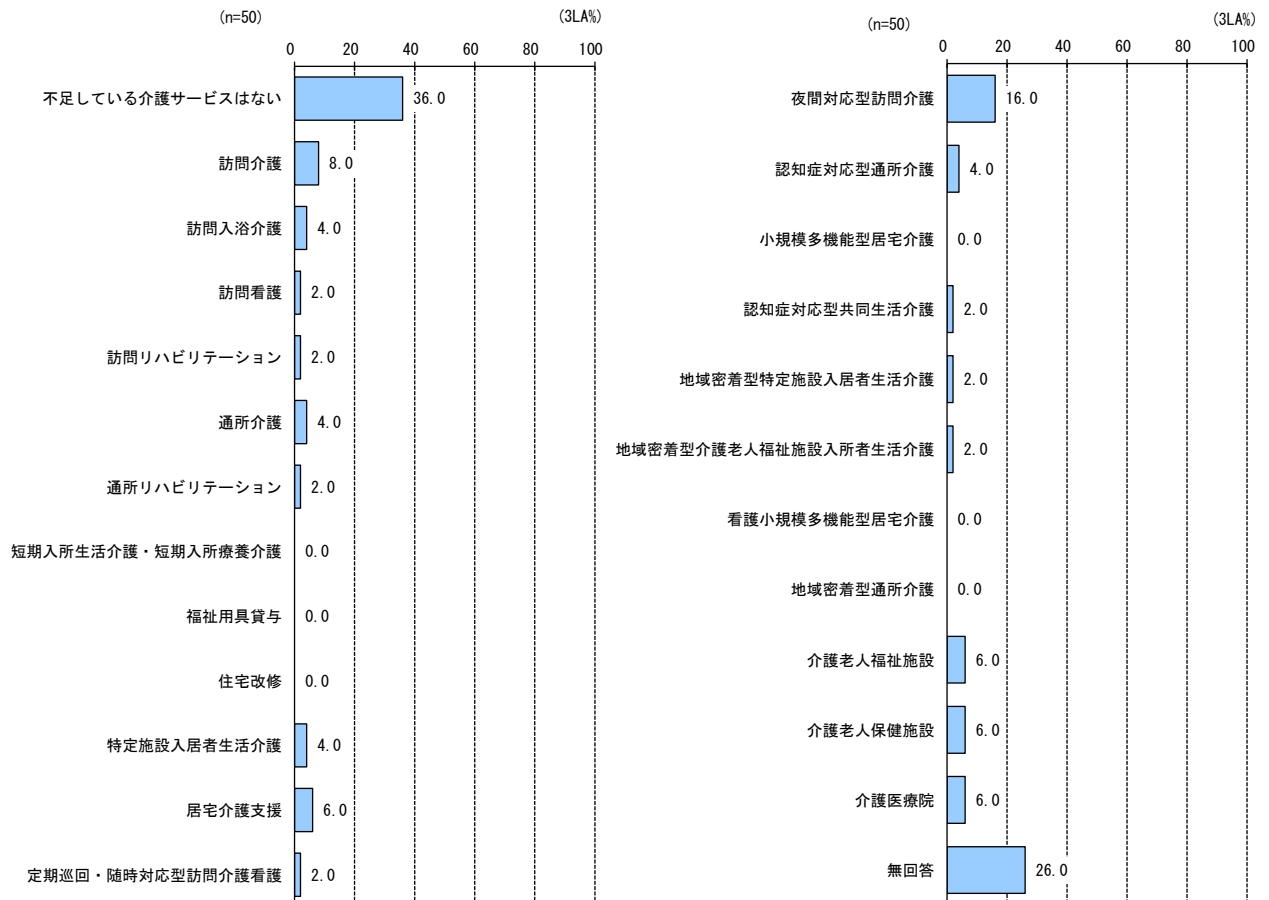
7. サービス、社会資源について

●問 14 羽曳野市に不足しているサービスは何ですか。

【全体】

○ 羽曳野市に不足している介護サービスについて、「不足している介護サービスはない」が 36.0%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 16.0%、「訪問介護」が 8.0%となっています。

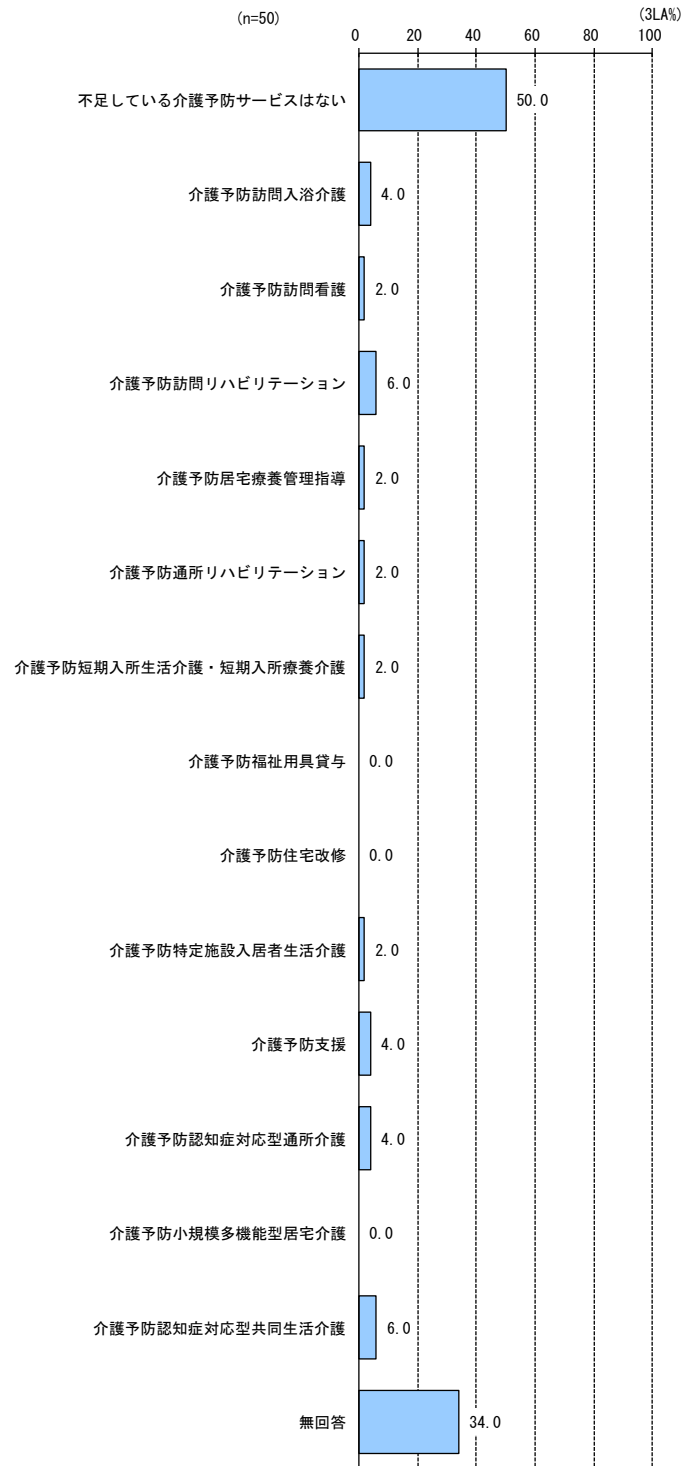
【羽曳野市に不足している介護サービス (3LA)】



【全体】

- 羽曳野市に不足している介護予防サービスについて、「不足している介護予防サービスはない」が50.0%で最も多く、次いで「介護予防訪問リハビリテーション」「介護予防認知症対応型共同生活介護」が6.0%、「介護予防訪問入浴介護」「介護予防支援」「介護予防認知症対応型通所介護」が4.0%となっています。

【羽曳野市に不足している介護予防サービス(3LA)】



【全体】

- 羽曳野市に不足している総合事業について、「不足している総合事業サービスはない」が48.0%で最も多く、次いで「訪問型サービスA（基準緩和型）」「訪問型サービスB2（住民主体による支援）」「通所型サービスC（短期集中型）」が6.0%、「介護予防訪問介護相当サービス（現行相当）」が4.0%となっています。

【羽曳野市に不足している総合事業(3LA)】

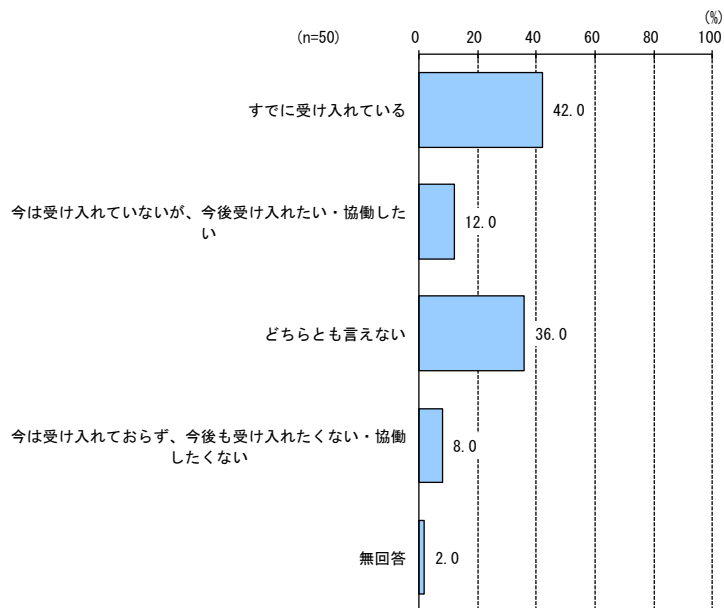


- 問 15 今後、ボランティアやNPO法人等との協働についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

【全体】

- 今後のボランティアやNPO法人等との協働についての考えについて、「すでに受け入れている」が42.0%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」が36.0%、「今は受け入れているが、今後受け入れたい・協働したい」が12.0%となっています。

【今後のボランティアやNPO法人等との協働についての考え】

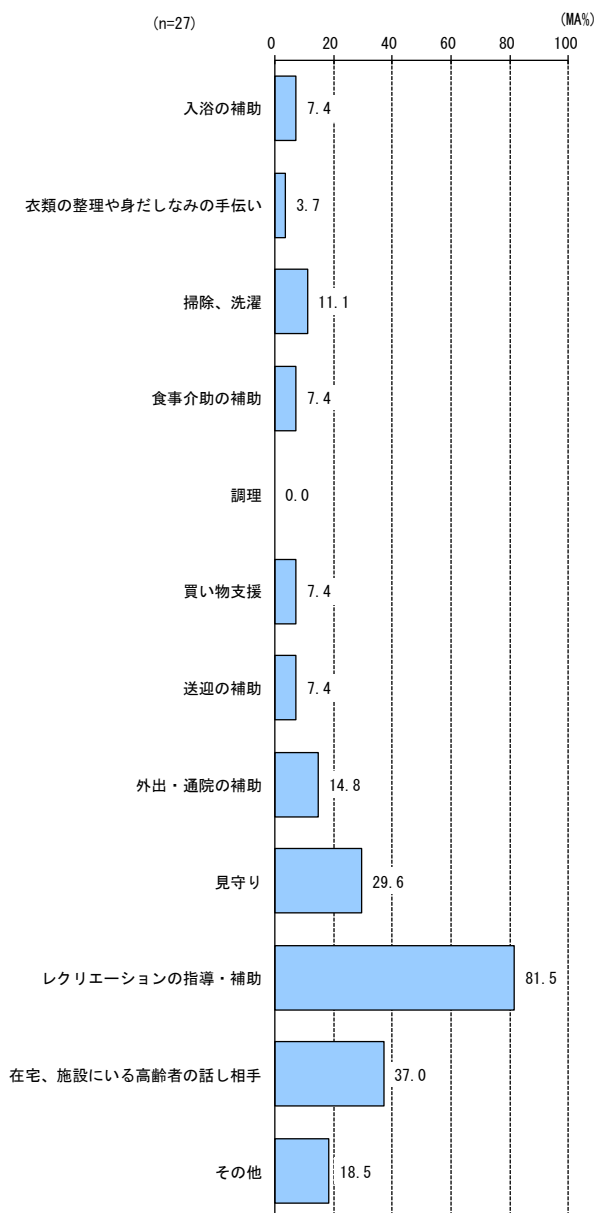


●問 15-1 今後、どのような活動について、受け入れたい・協働したいと思いますか。(○はいくつでも)

【全体】

○ 今後受け入れたい・協働したい活動について、「レクリエーションの指導・補助」が81.5%で最も多く、次いで「在宅、施設にいる高齢者の話し相手」が37.0%、「見守り」が29.6%となっています。

【今後受け入れたい・協働したい活動(MA)】

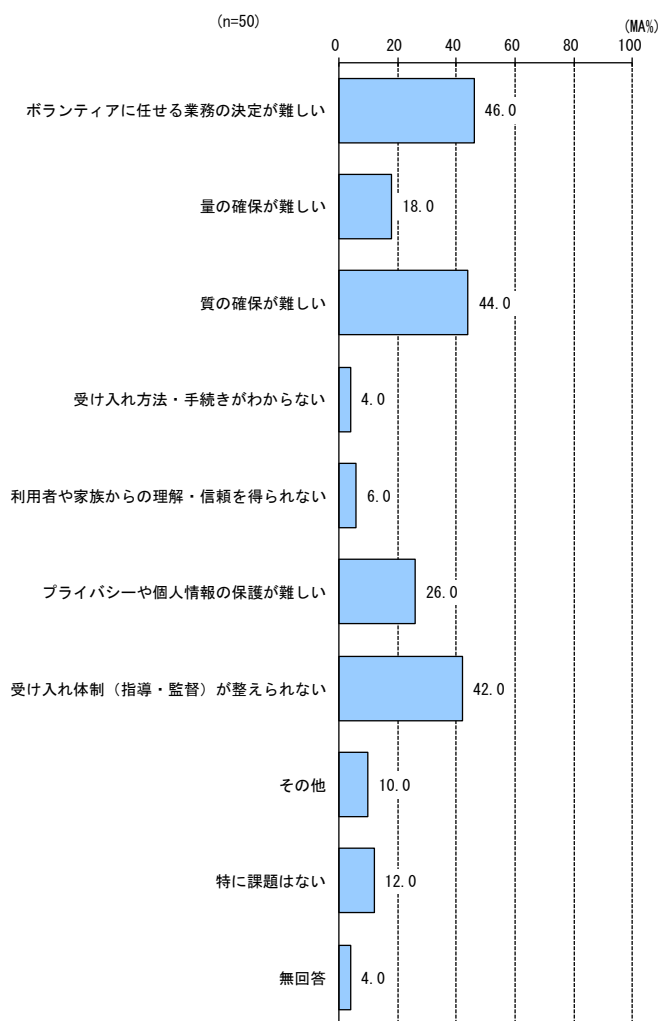


●問 16 ボランティアを受け入れる際の課題を教えてください。(〇はいくつでも)

【全体】

- ボランティアを受け入れる際の課題について、「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」が46.0%で最も多く、次いで「質の確保が難しい」が44.0%、「受け入れ体制（指導・監督）が整えられない」が42.0%となっています。

【ボランティアを受け入れる際の課題 (MA)】

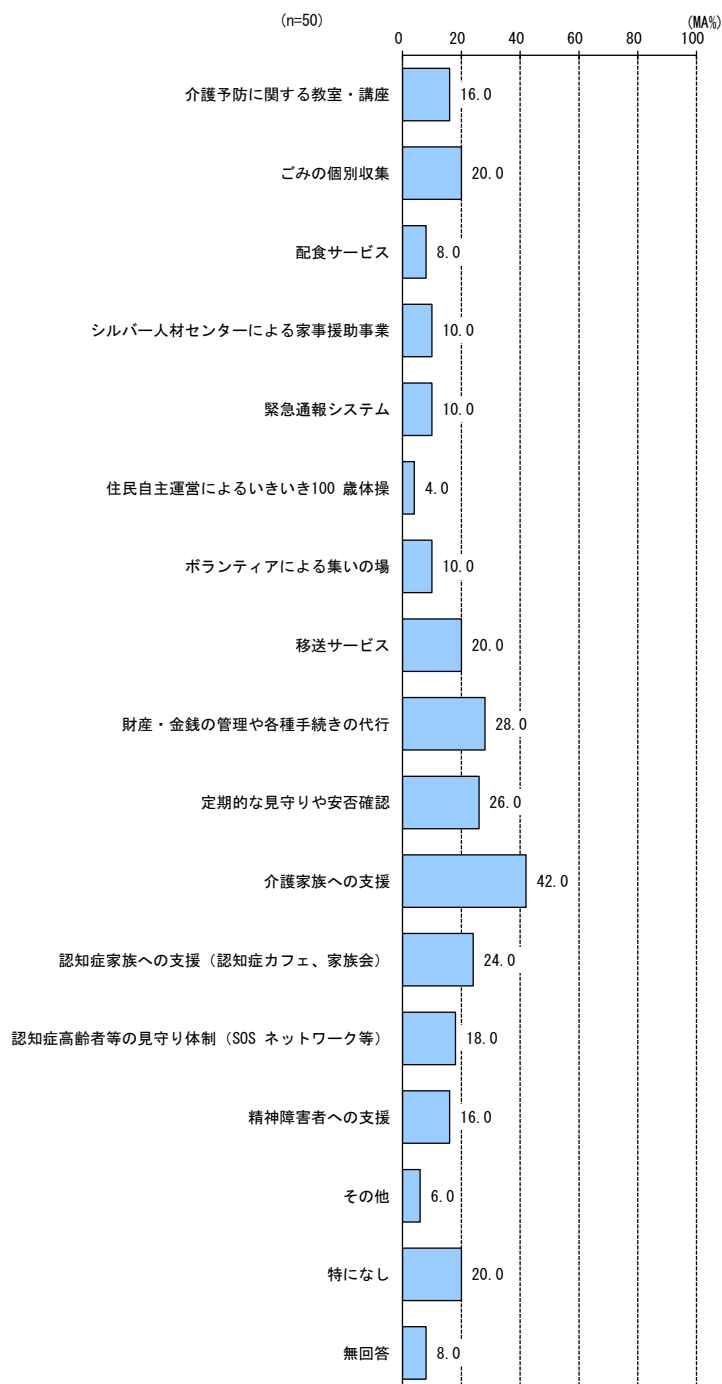


- 問 17 介護保険サービス以外の羽曳野市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスはありますか。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 介護保険サービス以外の羽曳野市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスについて、「介護家族への支援」が42.0%で最も多く、次いで「財産・金銭の管理や各種手続きの代行」が28.0%、「定期的な見守りや安否確認」が26.0%となっています。

【介護保険サービス以外の羽曳野市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービス(MA)】

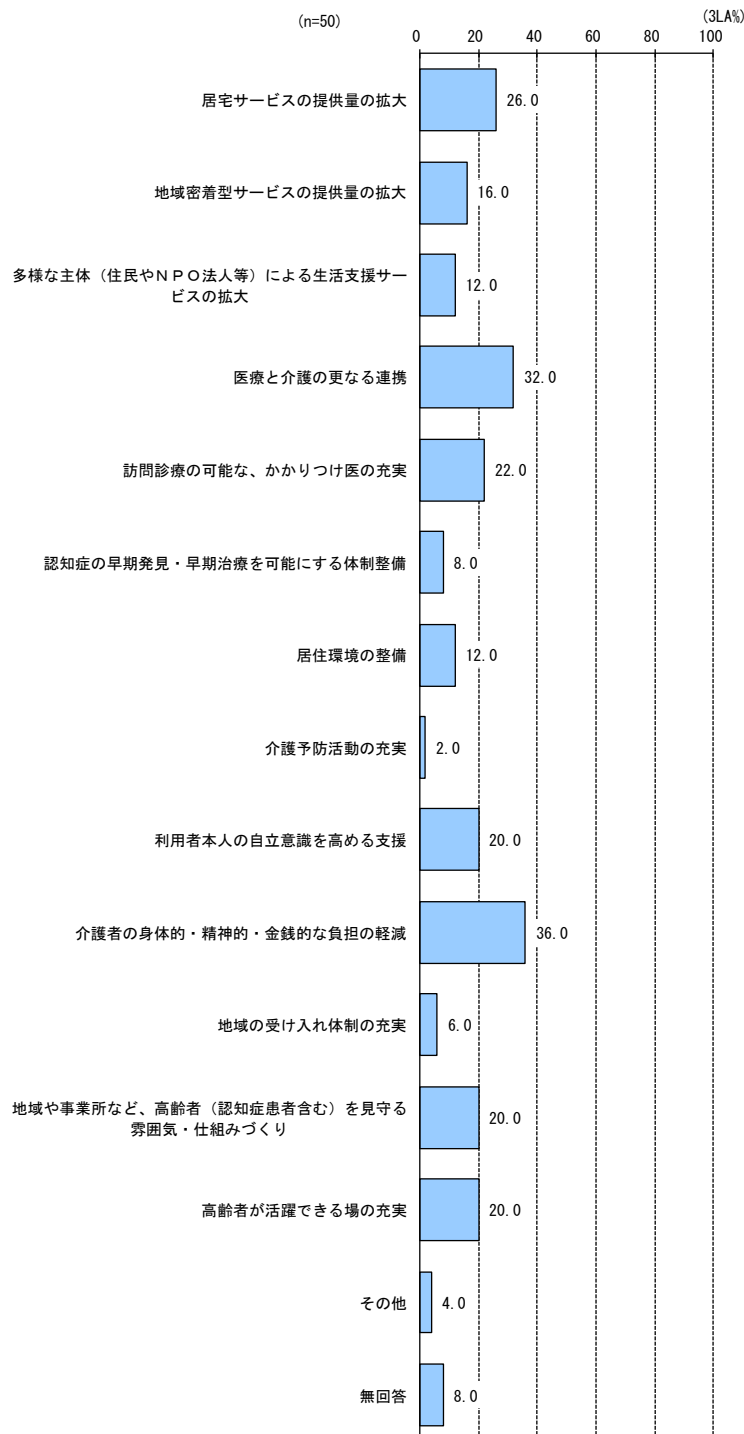


- 問 18 要介護状態になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活するためには、今後、どのような取り組みが必要だと考えますか。(○は3つまで)

【全体】

- 要介護状態になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活するために今後必要な取り組みについて、「介護者の身体的・精神的・金銭的な負担の軽減」が36.0%で最も多く、次いで「医療と介護の更なる連携」が32.0%、「居宅サービスの提供量の拡大」が26.0%となっています。

【要介護状態になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活するために今後必要な取り組み (3LA)】



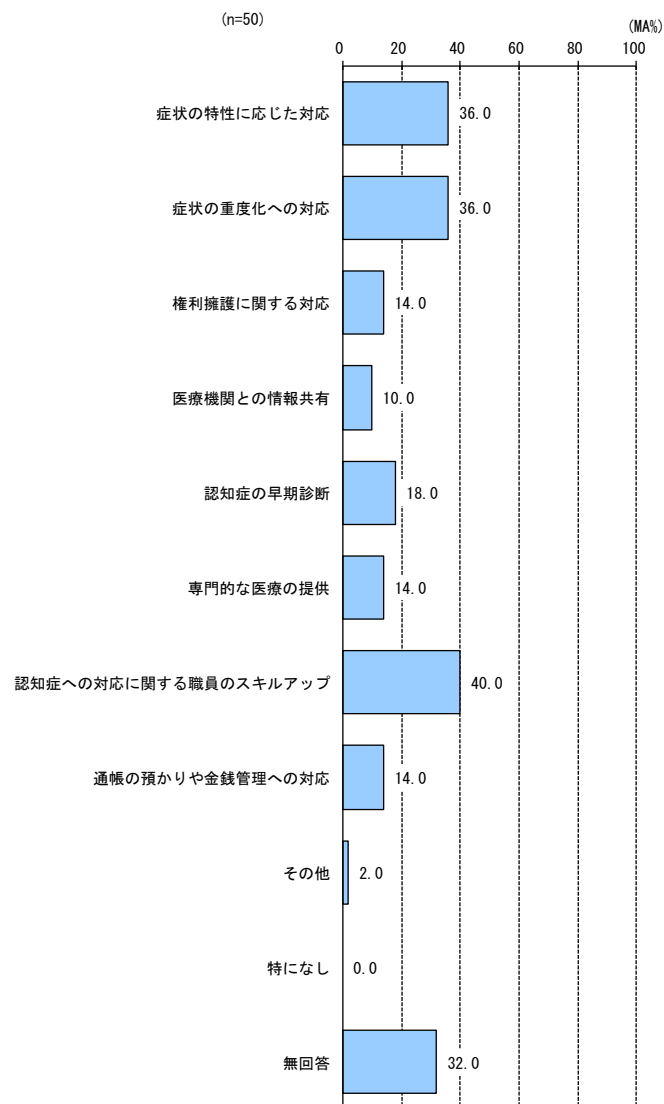
8. 認知症、医療・介護連携について

- 問 19 認知症の方への対応で課題となっていることは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 認知症の方への対応で課題となっていることについて、「認知症への対応に関する職員のスキルアップ」が40.0%で最も多く、次いで「症状の特性に応じた対応」「症状の重度化への対応」が36.0%、「認知症の早期診断」が18.0%となっています。

【認知症の方への対応で課題となっていること (MA)】

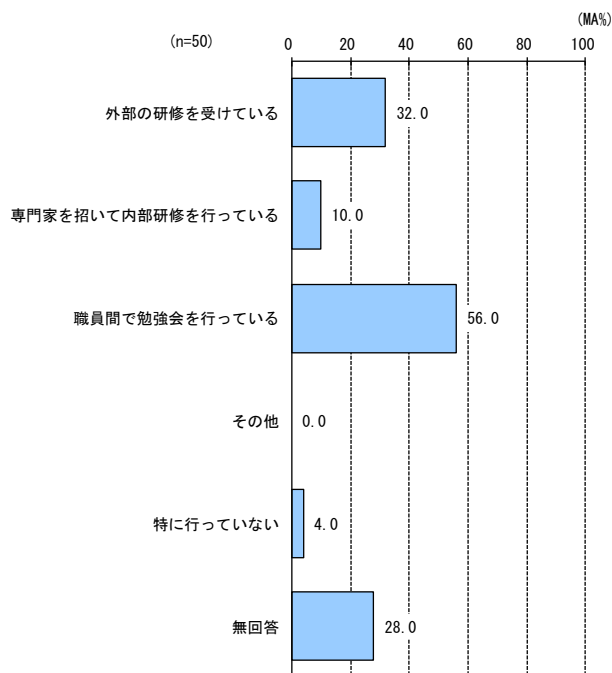


●問 20 認知症への対応に関する職員の研修をどのように行っていますか。(○はいくつでも)

【全体】

- 認知症への対応に関する職員の研修方法について、「職員間で勉強会を行っている」が 56.0%で最も多く、次いで「外部の研修を受けている」が 32.0%、「専門家を招いて内部研修を行っている」が 10.0%となっています。

【認知症への対応に関する職員の研修方法 (MA)】

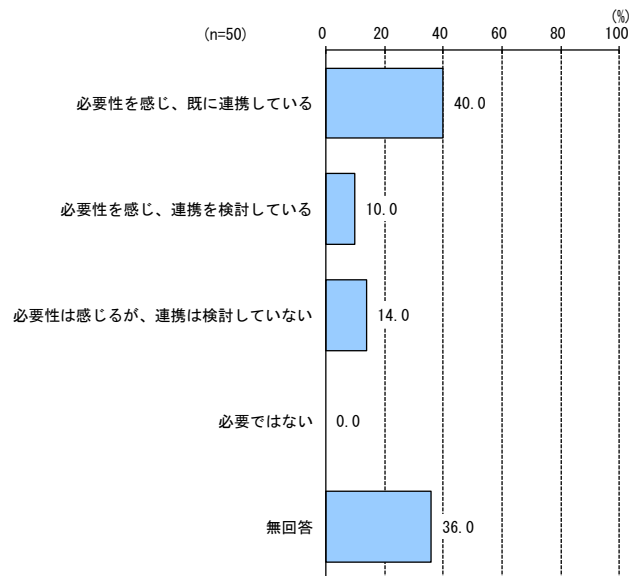


●問 21 サービスを提供するうえで、医療との連携は必要だと思いますか。(○は1つ)

【全体】

○ サービスを提供するうえで、医療との連携の必要性について、「必要性を感じ、既に連携している」が40.0%で最も多く、次いで「必要性を感じるが、連携は検討していない」が14.0%、「必要性を感じ、連携を検討している」が10.0%となっています。

【サービスを提供するうえで、医療との連携の必要性】

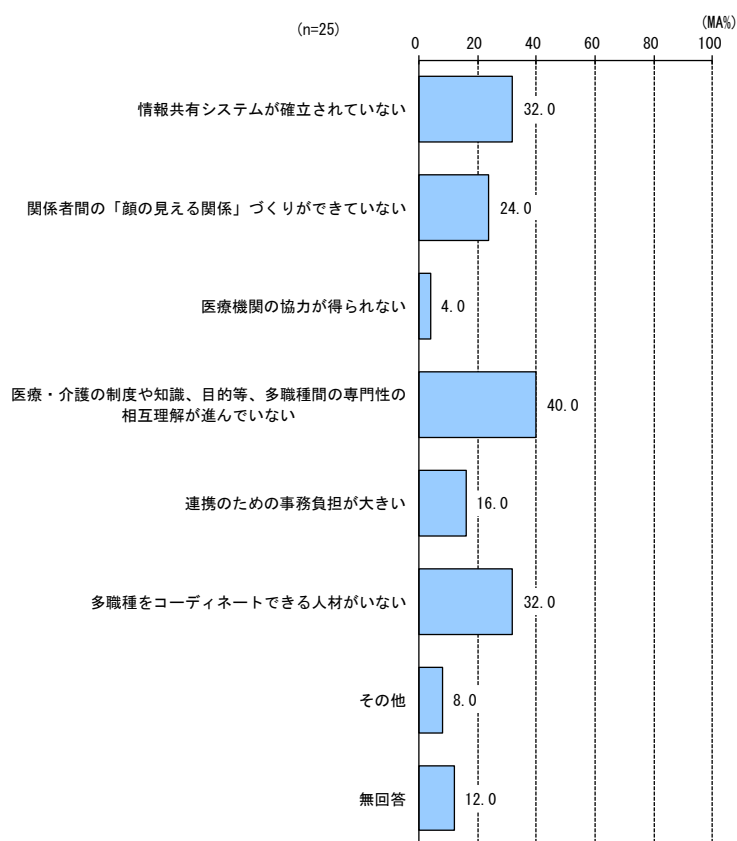


- 問 21-1 医療機関との連携を進めるうえで課題だと感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 医療機関との連携を進めるうえで課題だと感じることについて、「医療・介護の制度や知識、目的等、多職種間の専門性の相互理解が進んでいない」が40.0%で最も多く、次いで「情報共有システムが確立されていない」「多職種をコーディネートできる人材がない」が32.0%、「関係者間の「顔の見える関係」づくりができていない」が24.0%となっています。

【医療機関との連携を進めるうえで課題だと感じること (MA)】



●問 22 在宅医療を進めるうえでの課題は何だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

○ 在宅医療を進めるうえでの課題について、「家族の理解」が40.0%で最も多く、次いで「経済的問題」が32.0%、「高齢者の独居・夫婦のみ世帯の増加、孤立」が28.0%となっています。

【在宅医療を進めるうえでの課題(3LA)】

